

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成23年10月14日

**【四半期会計期間】** 第46期第2四半期(自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)

**【会社名】** エスフーズ株式会社

**【英訳名】** S Foods Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 村上真之助

**【本店の所在の場所】** 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13

**【電話番号】** (0798)43局1065番

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長  
安岡信幸

**【最寄りの連絡場所】** 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13

**【電話番号】** (0798)43局1065番

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長  
安岡信幸

**【縦覧に供する場所】** エスフーズ株式会社東京支店  
(千葉県船橋市浜町3丁目2番3)

株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第45期 第2四半期連結 累計期間	第46期 第2四半期連結 累計期間	第45期 第2四半期連結 会計期間	第46期 第2四半期連結 会計期間	第45期
会計期間	自 平成22年 3月1日 至 平成22年 8月31日	自 平成23年 3月1日 至 平成23年 8月31日	自 平成22年 6月1日 至 平成22年 8月31日	自 平成23年 6月1日 至 平成23年 8月31日	自 平成22年 3月1日 至 平成23年 2月28日
売上高 (千円)	62,819,990	66,647,078	31,843,711	32,840,452	130,179,382
経常利益 (千円)	2,182,420	1,953,120	997,359	835,629	4,763,927
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失( ) (千円)	1,041,990	728,515	500,884	136,560	2,362,505
純資産額 (千円)			33,297,495	34,817,045	34,621,598
総資産額 (千円)			59,684,284	61,956,831	59,738,894
1株当たり純資産額 (円)			1,074.80	1,119.73	1,117.39
1株当たり四半期 (当期)純利益金額又は 四半期純損失金額( ) (円)	37.20	26.01	17.88	4.88	84.34
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)					
自己資本比率 (%)			50.4	50.6	52.4
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	60,819	880,505			2,913,436
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,447,180	89,051			2,332,842
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	911,729	557,529			387,859
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)			10,932,652	12,574,748	12,349,080
従業員数 (名)			1,346	1,304	1,288

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため、また、第46期第2四半期連結累計期間については、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動については、「3 関係会社の状況」に記載のとおりであります。

## 3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間における、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

新規

名称	住所	資本金 (千円)	主要な事業 の内容	議決権の 所有割合 (%)	関係内容
(連結子会社) エスファーム遠野 株式会社	岩手県遠野市	10,000	肥育事業	100.0 〔100.0〕	
イーユーフード 株式会社	大韓民国 仁川広域市	千KRW 6,665,000	食肉の製造・加 工販売	55.0	役員の兼任(2名)あり。

(注) 議決権の所有割合は、子会社及び緊密な者又は同意している者による間接所有割合を〔 〕に内書しております。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成23年8月31日現在

従業員数(名)	1,304 (1,263)
---------	---------------

(注) 1 従業員数は、当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む就業人員であります。

2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第2四半期連結会計期間の平均雇用人員であります。

3 臨時従業員には、パートタイマー及び嘱託契約の従業員を含み、派遣社員を除いております。

### (2) 提出会社の状況

平成23年8月31日現在

従業員数(名)	584 (131)
---------	-----------

(注) 1 従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人員であります。

2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第2四半期会計期間の平均雇用人員であります。

3 臨時従業員には、パートタイマー及び嘱託契約の従業員を含み、派遣社員を除いております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(トン)	前年同四半期比(%)
食肉等の製造・卸売事業	15,524	
その他	3,845	
合計	19,370	

(注) 国産牛肉の加工は、枝肉を部位別に分割する加工であるため生産実績に含めておりません。

#### (2) 受注実績

当社グループは受注生産を行っておりません。

#### (3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
食肉等の製造・卸売事業	26,565,279	
食肉等の小売事業	4,822,677	
食肉等の外食事業	1,117,735	
その他	334,759	
合計	32,840,452	

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等は行われておりません。

### 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間における日本経済は、東日本大震災後に発生した多くの問題と、世界的な信用不安に起因する円高の進行などにより、企業活動は停滞し、それに引きずられるように景気も低迷を続けました。

当食肉業界におきましても、電力逼迫や食中毒問題による外食産業の売上不振や、放射能問題による畜産業の混乱により、一層厳しい状況が続きました。

このような経営環境の下、当社グループは、第1四半期連結会計期間に続き、デフレ環境に対応した効率的

で安定的なグループ活動を目指し努力いたしました。

食肉流通の川上及び川中領域においては、牛肉を主軸とする事業構成から複数軸へ転換するため前連結会計年度より養豚事業に着手しており、当第2四半期連結累計期間は豚肉オリジナルブランド「夢の大地」やその他の国産及び輸入豚肉の拡販に努めております。また、製品開発と販売促進のルートを一元化し、「おつまみこてっちゃん」など新機軸製品の開発、屋外イベントや展示会への協賛等でPR活動を行いました。次に川下領域においては、営業店舗の活性化、物流体制の合理化及びプライベート商品の開発などグループ内シナジー効果の活用を継続いたしました。

なお、株式市場の低迷から保有有価証券の時価が著しく下落し、その回復が認められないものについて、四半期洗替え方式による投資有価証券評価損の洗替えを行い損失計上額が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間の業績は、売上高328億4千万円（前年同期比3.1%増）、営業利益7億1千4百万円（前年同期比21.7%減）、経常利益8億3千5百万円（前年同期比16.2%減）、四半期純利益1億3千6百万円（前年同期比72.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は、「食肉等の製造・卸売事業」は売上高280億7千4百万円、セグメント利益8億8千4百万円、「食肉等の小売事業」は売上高49億9千8百万円、セグメント利益1億5千2百万円、「食肉等の外食事業」は売上高11億4千9百万円、セグメント損失7千1百万円であります。

## （2）財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて22億1千7百万円増加し、619億5千6百万円となりました。これは主に、売上増加に伴い売上債権、たな卸資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて20億2千2百万円増加し、271億3千9百万円となりました。これは主に、売上増加に伴う仕入債務が増加したこと及び借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億9千5百万円増加し、348億1千7百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加11億6千2百万円が、利益剰余金の減少10億6千4百万円を上回ったことによるものであります。

## （3）キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、第1四半期連結会計期間末に比べ12億6千3百万円増加し、125億7千4百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは14億3千3百万円の収入（前第2四半期連結会計期間は3億8千4百万円の支出）で、主な増加要因は税金等調整前四半期純利益3億2千5百万円、減価償却費3億3千6百万円、のれん償却額1億7百万円、投資有価証券評価損の増加3億7千8百万円及びたな卸資産の減少16億3千8百万円であります。一方、主な減少要因は、賞与引当金の減少1億9千7百万円及び仕入債務の減少15億1千3百万円であります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは1億2千7百万円の収入（前第2四半期連結会計期間は11億4千3百万円の支出）で、収入の主なものは定期預金の純減額3億8千8百万円であります。一方、支出の主なものは有形固定資産の取得による支出4億4千5百万円であります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは2億9千6百万円の支出（前第2四半期連結会計期間は13億8千3百万円の収入）で、支出の主なものは長期借入金の返済による支出1億9千万円であります。収入の主なものは短期借入金の純増額9千万円であります。

## （4）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## （5）研究開発活動

当第2四半期連結会計期間の研究開発費の総額は1千9百万円であります。

### 第3 【設備の状況】

#### (1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、第三者割当増資を引き受けたことにより、イーユーフード株式会社が連結子会社となったため、以下の設備が主要な設備となりました。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの 名称	設備の 内容	帳簿価額(千円)				従業員数 (名)
				建物及び 構築物	土地 (面積㎡)	その他	合計	
イーユーフード 株式会社	本社 (大韓民国仁川広 域市)	食肉等の製造・ 卸売事業	食肉加工品製 造設備他	571,756	( )	136,969	708,725	8 ( )

- (注) 1 帳簿価額のうち「その他」は「機械装置及び運搬具」、「工具、器具及び備品」であります。  
 2 従業員数欄の(外書)は臨時従業員の当第2四半期連結会計期間の平均雇用人員であります。

#### (2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった平成23年7月完了予定の当社営業所用地の取得については、中止いたしました。

また、当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年10月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	32,267,721	32,267,721	東京証券取引所 (市場第一部) 大阪証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 500株
計	32,267,721	32,267,721		

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年8月31日		32,267,721		4,298,354		11,881,796



(6) 【大株主の状況】

平成23年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
村上真之助	兵庫県姫路市	7,990	24.76
丸紅株式会社	東京都千代田区大手町1丁目4-2	4,841	15.00
伊藤ハム株式会社	神戸市灘区備後町3丁目2-1	838	2.59
三井物産株式会社	東京都千代田区大手町1丁目2番1号	705	2.18
野村信託銀行株式会社(投信口)	東京都千代田区大手町2丁目2-2	700	2.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	東京都中央区晴海1丁目8-11	670	2.07
有限会社ファイブエム	兵庫県西宮市羽衣町5番17-201号	662	2.05
包括信託受託者 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(中央三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	610	1.89
森島 征夫	兵庫県西宮市	460	1.42
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7-1	322	1.00
計		17,803	55.17

- (注) 1 上記のほか、当社が保有している自己株式が4,259千株(13.20%)あります。
- 2 野村信託銀行株式会社の所有株式700千株、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式670千株は、信託業務に係る株式であります。
- 3 包括信託受託者日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式610千株(持分比率1.89%)は、株式会社三井住友銀行が同行に委託した信託財産であり、その議決権行使の指図権は、株式会社三井住友銀行に留保されております。
- 4 次の法人から、平成21年3月5日に大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付があり(報告義務発生日平成21年2月27日)、次のとおり株式を保有している旨報告を受けておりますが、当第2四半期会計期間末現在における当該法人名義の実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	東京都品川区大崎1丁目11-2	1,318	4.08

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,259,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 27,840,000	55,680	
単元未満株式	普通株式 168,221		
発行済株式総数	32,267,721		
総株主の議決権		55,680	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式220株が含まれております。  
 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式187株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) エスフーズ株式会社	兵庫県西宮市鳴尾浜 1丁目22番13	4,259,500		4,259,500	13.20
計		4,259,500		4,259,500	13.20

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成23年 3月	4月	5月	6月	7月	8月
最高(円)	750	685	679	701	705	674
最低(円)	589	639	651	665	661	599

(注) 株価は、東京証券取引所第一部におけるものであります。

### 3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間(平成22年6月1日から平成22年8月31日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成22年3月1日から平成22年8月31日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成23年6月1日から平成23年8月31日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年8月31日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間(平成22年6月1日から平成22年8月31日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成22年3月1日から平成22年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間(平成23年6月1日から平成23年8月31日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,451,105	13,600,537
受取手形及び売掛金	13,877,975	11,764,785
商品及び製品	6,525,337	6,147,626
仕掛品	1,499,215	1,372,510
原材料及び貯蔵品	623,454	611,113
その他	1,236,145	1,335,012
貸倒引当金	148,355	136,451
流動資産合計	37,064,878	34,695,134
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,374,324	13,638,220
減価償却累計額	7,936,307	7,733,396
建物及び構築物(純額)	6,438,017	5,904,823
土地	7,829,710	7,670,990
その他	11,776,547	11,366,612
減価償却累計額	8,935,129	8,694,018
その他(純額)	2,841,417	2,672,593
減損損失累計額	618,331	635,200
有形固定資産合計	16,490,813	15,613,207
無形固定資産		
のれん	436,589	520,584
その他	139,756	159,410
無形固定資産合計	576,345	679,995
投資その他の資産		
投資有価証券	4,704,682	5,523,706
その他	3,249,078	3,398,259
貸倒引当金	128,967	171,408
投資その他の資産合計	7,824,792	8,750,557
固定資産合計	24,891,952	25,043,760
資産合計	61,956,831	59,738,894

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,273,171	8,035,053
短期借入金	4,363,765	4,105,000
未払法人税等	924,972	858,551
賞与引当金	591,107	598,120
その他	3,843,970	3,380,501
流動負債合計	18,996,988	16,977,226
固定負債		
社債	600,000	750,000
長期借入金	4,927,928	4,702,310
退職給付引当金	648,288	635,308
役員退職慰労引当金	139,252	155,448
その他	1,827,329	1,897,002
固定負債合計	8,142,797	8,140,069
負債合計	27,139,786	25,117,296
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,298,354	4,298,354
資本剰余金	11,952,554	11,952,554
利益剰余金	18,296,956	19,361,583
自己株式	2,985,877	2,985,005
株主資本合計	31,561,988	32,627,486
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	251,426	911,400
繰延ヘッジ損益	31,802	14,830
為替換算調整勘定	420,296	403,864
評価・換算差額等合計	200,672	1,330,095
少数株主持分	3,455,729	3,324,206
純資産合計	34,817,045	34,621,598
負債純資産合計	61,956,831	59,738,894

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	62,819,990	66,647,078
売上原価	51,862,516	56,058,979
売上総利益	10,957,474	10,588,098
販売費及び一般管理費	1 8,919,910	1 8,858,212
営業利益	2,037,563	1,729,886
営業外収益		
受取利息	9,128	12,469
受取配当金	43,644	49,040
負ののれん償却額	28,048	28,048
その他	170,387	220,811
営業外収益合計	251,209	310,369
営業外費用		
支払利息	54,148	54,378
その他	52,203	32,757
営業外費用合計	106,352	87,135
経常利益	2,182,420	1,953,120
特別利益		
貸倒引当金戻入額	13,906	29,555
関係会社株式売却益	9,425	-
賞与引当金戻入額	12,074	19,003
その他	3,006	25,710
特別利益合計	38,411	74,270
特別損失		
固定資産処分損	51,315	5,459
減損損失	33,053	37,217
投資有価証券売却損	15,590	111,226
投資有価証券評価損	74,221	2,510,136
店舗閉鎖損失	29,058	23,992
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	118,281
その他	22,432	18,688
特別損失合計	225,671	2,825,001
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	1,995,160	797,611
法人税等	931,089	110,714
少数株主損益調整前四半期純損失( )	-	686,897
少数株主利益	22,080	41,618
四半期純利益又は四半期純損失( )	1,041,990	728,515

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	31,843,711	32,840,452
売上原価	26,482,693	27,633,456
売上総利益	5,361,017	5,206,996
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 4,448,649	<sup>1</sup> 4,492,589
営業利益	912,368	714,406
営業外収益		
受取利息	4,287	5,630
受取配当金	42,345	44,076
負ののれん償却額	14,024	14,024
その他	78,976	108,595
営業外収益合計	139,633	172,326
営業外費用		
支払利息	28,153	26,949
その他	26,489	24,154
営業外費用合計	54,642	51,103
経常利益	997,359	835,629
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,602	9,592
賞与引当金戻入額	11,716	18,633
その他	576	16,242
特別利益合計	16,895	44,469
特別損失		
固定資産処分損	39,620	3,272
減損損失	8,075	37,217
投資有価証券売却損	-	111,226
投資有価証券評価損	74,221	378,413
その他	<sup>2</sup> 33,253	<sup>2</sup> 24,835
特別損失合計	155,170	554,964
税金等調整前四半期純利益	859,084	325,133
法人税等	407,979	194,345
少数株主損益調整前四半期純利益	-	130,788
少数株主損失( )	49,779	5,772
四半期純利益	500,884	136,560



## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	1,995,160	797,611
減価償却費	588,321	657,491
減損損失	33,053	37,217
のれん償却額	232,336	214,828
負ののれん償却額	28,048	28,048
賞与引当金の増減額( は減少)	10,656	7,012
退職給付引当金の増減額( は減少)	48,649	12,979
受取利息及び受取配当金	52,773	61,509
投資有価証券評価損益( は益)	-	2,510,136
売上債権の増減額( は増加)	2,172,946	2,115,467
たな卸資産の増減額( は増加)	956,741	520,728
仕入債務の増減額( は減少)	1,467,110	1,238,961
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	118,281
その他	106,247	380,239
小計	1,271,025	1,639,756
利息及び配当金の受取額	52,230	59,509
利息の支払額	57,312	54,757
法人税等の支払額	1,205,124	764,003
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,819	880,505
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額( は増加)	-	375,100
有形固定資産の取得による支出	669,357	684,215
無形固定資産の取得による支出	35,151	2,788
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	325,000	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	7,521
事業譲受による支出	294,957	-
短期貸付けによる支出	50,000	20,600
その他	72,713	235,931
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,447,180	89,051
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	767,000	175,000
長期借入れによる収入	1,033,000	333,600
長期借入金の返済による支出	340,801	474,873
自己株式の取得による支出	303	871
配当金の支払額	307,355	336,898
少数株主への配当金の支払額	64,637	64,635
その他	175,172	188,849
財務活動によるキャッシュ・フロー	911,729	557,529
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,571	8,256
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	478,202	225,668
現金及び現金同等物の期首残高	11,410,855	12,349,080
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,932,652	12,574,748

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	
1. 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1)連結の範囲の変更            平成23年6月22日付で、連結子会社エスファーム株式会社がエスファーム遠野株式会社を新規設立したことに伴い、連結の範囲に含めております。            平成23年7月28日付で、第三者割当増資に応じ過半数の株式を取得したことに伴い、イーユーフード株式会社を連結の範囲に含めております。</p> <p>(2)変更後の連結子会社の数            21社</p>
2. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>「資産除去債務に関する会計基準」等の適用            第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。</p> <p>これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益が7,242千円、経常利益が7,286千円減少し、税金等調整前四半期純損失が125,567千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は206,038千円であります。</p>

【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	
(四半期連結損益計算書関係)	<p>「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失（ ）」の科目を表示しております。</p>
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	<p>前第2四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に一括表示しておりました「投資有価証券評価損益（ は益）」（前第2四半期連結累計期間74,221千円）は、金額的な重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記しております。</p> <p>前第2四半期連結累計期間において、投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に一括表示しておりました「定期預金の純増減額（ は増加）」（前第2四半期連結累計期間148,500千円）は、金額的な重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記しております。</p>

当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)	
(四半期連結損益計算書関係)	<p>「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。</p>

【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日至平成23年8月31日)
1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日至平成23年8月31日)
1. 税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
1 販売費及び一般管理費の主なもの	1 販売費及び一般管理費の主なもの
給与手当 2,341,026千円	給与手当 2,290,373千円
賞与引当金繰入額 404,974千円	賞与引当金繰入額 402,815千円
貸倒引当金繰入額 33,568千円	貸倒引当金繰入額 57,912千円
役員退職慰労引当金繰入額 11,886千円	役員退職慰労引当金繰入額 8,546千円

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
1 販売費及び一般管理費の主なもの	1 販売費及び一般管理費の主なもの
給与手当 1,173,588千円	給与手当 1,147,152千円
賞与引当金繰入額 176,062千円	賞与引当金繰入額 172,426千円
貸倒引当金繰入額 7,164千円	貸倒引当金繰入額 26,551千円
役員退職慰労引当金繰入額 5,369千円	役員退職慰労引当金繰入額 3,798千円
2 店舗閉鎖損失22,730千円等であります。	2 店舗閉鎖損失22,125千円等であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
1 現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間 末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されて いる科目の金額との関係 (平成22年8月31日現在)	1 現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間 末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されて いる科目の金額との関係 (平成23年8月31日現在)
現金及び預金 12,597,286千円	現金及び預金 13,451,105千円
預入期間が3か月超の定期預金 1,664,633千円	預入期間が3か月超の定期預金 876,357千円
現金及び現金同等物 10,932,652千円	現金及び現金同等物 12,574,748千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成23年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	32,267,721

2. 自己株式の種類及び株式数

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	4,259,687

3. 新株予約権の四半期連結会計期間末残高等

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月24日 定時株主総会	普通株式	336,111	12	平成23年2月28日	平成23年5月25日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月11日 取締役会	普通株式	336,096	12	平成23年8月31日	平成23年11月1日	利益剰余金

5. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)

当企業グループは主として肉製品及び生肉加工品の製造、販売ならびに生肉の販売という区分に属する事業を行っており、また、市場及び販売方法等についても類似しております。

また、その他の事業については金額が少額のため事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)

	日本 (千円)	アメリカ 合衆国(千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	31,377,626	466,084		31,843,711		31,843,711
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		410,529		410,529	(410,529)	
計	31,377,626	876,614		32,254,241	(410,529)	31,843,711
営業利益又は営業損失( )	912,504	13,013	1,331	924,186	(11,818)	912,368

(注) その他の区分に属する主な国又は地域は韓国であります。

前第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)

	日本 (千円)	アメリカ 合衆国(千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	61,807,779	1,012,210		62,819,990		62,819,990
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,970	622,116		628,087	(628,087)	
計	61,813,750	1,634,327		63,448,077	(628,087)	62,819,990
営業利益又は営業損失( )	1,988,316	68,779	1,331	2,055,763	(18,200)	2,037,563

(注) その他の区分に属する主な国又は地域は韓国であります。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、総合食肉企業集団を目指しており、構成企業は畜産、食肉関連製品の製造・加工、食肉商品の卸販売、同じく小売、そして飲食サービスまでの一貫した食肉サプライ・チェーンの機能を単一又は複合的に分担し、当社は包括的な戦略を立て全体を統括しながら事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、食肉の製品・サービスを基礎とする生産・流通機能別のセグメントから構成されており、食肉生産及び食肉製品の製造並びに食肉商品の卸販売を主たる事業領域とする「食肉等の製造・卸売事業」と食肉製品・商品の一般消費者向け販売を主たる事業領域とする「食肉等の小売事業」及び肉料理の一般消費者向けサービスを主たる事業領域とする「食肉等の外食事業」の3つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	食肉等の製造・卸売事業	食肉等の小売事業	食肉等の外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,970,222	9,755,267	2,268,753	65,994,243	652,834	66,647,078		66,647,078
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,090,042	396,410	68,208	3,554,661	3,850	3,558,511	3,558,511	
計	57,060,265	10,151,677	2,336,961	69,548,904	656,684	70,205,589	3,558,511	66,647,078
セグメント利益又は損失( )	1,878,846	488,802	97,922	2,269,726	48,275	2,318,001	588,115	1,729,886

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額 588,115千円には、セグメント間取引消去 100,796千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 487,318千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売 事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,565,279	4,822,677	1,117,735	32,505,692	334,759	32,840,452		32,840,452
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1,508,766	175,597	31,947	1,716,311	81	1,716,392	1,716,392	
計	28,074,046	4,998,274	1,149,682	34,222,003	334,840	34,556,844	1,716,392	32,840,452
セグメント利益又は 損失( )	884,256	152,845	71,496	965,605	8,911	974,516	260,109	714,406

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額 260,109千円には、セグメント間取引消去 25,680千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 234,428千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

### 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

#### (追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

#### (金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動が認められません。

#### (有価証券関係)

当社グループが保有している有価証券は、企業集団の事業の運営において重要なものではありません。

#### (デリバティブ取引関係)

当社グループが行っておりますデリバティブ取引は、企業集団の事業の運営において重要なものではありません。

#### (ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

#### (企業結合等関係)

重要な該当事項はありません。



(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末 (平成23年2月28日)
1,119.73円	1,117.39円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末 (平成23年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	34,817,045	34,621,598
普通株式に係る純資産額(千円)	31,361,316	31,297,391
差額の主な内訳(千円)		
少数株主持分	3,455,729	3,324,206
普通株式の発行済株式数(株)	32,267,721	32,267,721
普通株式の自己株式数(株)	4,259,687	4,258,402
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 (株)	28,008,034	28,009,319

2 1株当たり四半期純利益金額等

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額 37.20円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	1株当たり四半期純損失金額( ) 26.01円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益又は 四半期純損失( ) (千円)	1,041,990	728,515
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失( ) (千円)	1,041,990	728,515
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(株)	28,010,367	28,008,754

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額 17.88円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	1株当たり四半期純利益金額 4.88円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	500,884	136,560
普通株式に係る四半期純利益(千円)	500,884	136,560
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(株)	28,010,316	28,008,351

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

第46期（平成23年3月1日から平成24年2月29日まで）中間配当については、平成23年10月11日開催の取締役会において、平成23年8月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	336,096千円
1株当たりの金額	12円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成23年11月1日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年10月14日

エスフーズ株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松井隆雄 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小林礼治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエスフーズ株式会社の平成22年3月1日から平成23年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成22年6月1日から平成22年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成22年3月1日から平成22年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エスフーズ株式会社及び連結子会社の平成22年8月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年10月14日

エスフーズ株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松 井 隆 雄 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小 林 礼 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエスフーズ株式会社の平成23年3月1日から平成24年2月29日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エスフーズ株式会社及び連結子会社の平成23年8月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。